

様式第3

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回野田市立図書館協議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 会長及び副会長の選出について（公開） 2 令和3年度野田市立図書館事業実施状況報告について（公開） 3 令和4年度野田市立図書館事業について（公開） 【追加議題】 4 令和2年度から令和4年度までの新型コロナウイルス感染防止対策に係る野田市立図書館の開館状況
日時	令和4年7月7日（木） 午後2時から3時30分まで
場所	櫛のホール2階 興風図書館会議室
出席委員氏名	会 長 筒井 圭子 副会長 河合 章男 委 員 中澤 清人、石山 美代子、村越 健志、山田 喜美子、 横川 しげ子、新田 のり子、田中 浩之、廣井 隆一
欠席委員氏名	委 員 小坂橋 一知、小林 幸男
事務局	染谷教育長 山下教育次長兼生涯学習部長 葛西興風図書館長 宮崎興風図書館館長補佐兼図書サービス係長 町田興風図書館庶務係長 加藤興風図書館図書サービス係主任主査 杉山興風図書館図書サービス係主任主査 吉田せきやど図書館長（指定管理者） 正岡南図書館長（指定管理者） 田口北図書館長（指定管理者） 白石図書館流通センターゼネラルマネージャー（指定管理者） 清水図書館流通センターエリアマネージャー（指定管理者）
傍聴者	無し

議事	令和4年度第1回野田市立図書館協議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
<p>興風図書館庶務係長</p> <p>教育長</p> <p>興風図書館庶務係長</p> <p>興風図書館長</p> <p>興風図書館庶務係長</p> <p>教育長</p>	<p>委員12人中10人の出席により会議が成立していること、会議を公開することとし、市報や市のホームページで会議の開催及び傍聴を周知していること、審議をしていただく案件の中に個人情報が含まれる場合はその都度会長より委員に諮り非公開の決定を行うこと、本日の会議は傍聴の申出がないこと、会議録作成のため録音機を使用することを報告する。</p> <p>&lt;染谷教育長が挨拶を行う。&gt;</p> <p>昨年、令和3年6月1日付けで新たに委員をお願いしたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、今日が初回の会議になるため名簿順にその場で自己紹介をお願いしたい。</p> <p>&lt;委員及び事務局自己紹介&gt;</p> <p>会議を始める前に、野田市立図書館協議会委員の役割について興風図書館長より説明させていただく。</p> <p>&lt;野田市立図書館協議会の役割について説明する。&gt;</p> <p>野田市立図書館協議会の運営方法等は、野田市立図書館の管理及び運営に関する規則第19条に、「野田市生涯学習審議会条例第5条及び第6条の規定を準用する」と定められている。</p> <p>野田市生涯学習審議会条例第5条第1項には「会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する」との規定があることから、会議の議題1は会長及び副会長の選出になる。</p> <p>それでは、会長が選出されるまでの間、染谷教育長に議長をお願いする。</p> <p>会長選出までの間、議長を務めさせていただく。</p> <p>始めに、委員の互選の方法についてお諮りする。</p> <p>前回の互選の方法は、会長、副会長の順で、出席されている委員の皆様から立候補される方を募ったところ、いずれも複数の委員から立候補があり、出席されている委員の方の多数決により決定をしたが、今回も同じ方法で選任することとしてよろしいか。</p> <p>—異議を発する者無し—</p> <p>異議がないので、その方法により選任することとする。</p>

<p>筒井委員 教育長</p>	<p>なお、立候補される委員がいなかった場合は、出席されている委員の皆様から指名推薦をいただき、複数の方が推薦された場合には、出席委員による多数決により決定することとしてよろしいか。</p> <p>—異議を發する者無し—</p> <p>異議がないので、その方法により会長及び副会長の選任を行う。</p> <p>始めに会長を選任する。</p> <p>会長に立候補される方はいるか。</p> <p>会長に立候補します。</p> <p>ただ今、筒井圭子委員が立候補された。</p> <p>ほかに会長に立候補される方はいるか。</p> <p>—ほかに立候補する委員無し—</p> <p>ほかに立候補者がいないため、会長に筒井委員を選任することで異議はないか。</p>
<p>教育長 筒井会長</p>	<p>—異議を發する者無し—</p> <p>異議なしと認め、会長に筒井委員を選任することを決定する。</p> <p>筒井会長に就任の挨拶をお願いする。</p> <p>ただ今、会長に選任されました筒井です。</p> <p>私は随分長きにわたって会長を務めさせていただいております。</p> <p>そろそろ他の方に代わっていただくべきかと思っておりましたところ、コロナ禍がやって参りまして、図書館協議会が度々中止になったり、延期になったりということが続いております。その中で考えましたことは、例えば図書館が休館になるとか開館時間が短くなるなど重大なことが決定されることに対して、図書館協議会が開かれないのは良いことなのだろうか、図書館協議会の存在意義というのはどういうものなのだろう、という疑問を感じてきた次第でございます。</p> <p>ここで一つ提案申し上げますが、やはり今、リモート会議というものが世の中当たり前になってきております。簡単に審議会とか協議会というものを中止とか延期するというのはいかなものかと思っておりますので、これからそのリモートの会議というものを是非検討をしていただきたいと思いますと思っております。たくさんの審議会がありますけれども、図書館協議会は情報を扱う図書館というところの協議会でありますので、そういうリモー</p>

河合委員	<p>トの会議というようなことも先鞭<sup>せんべん</sup>をつけていくべきではないかと思ひますので、これを課題としていただきたいと思ひ立候補した次第です。</p> <p>今日は、特に何もございませんが、次の会議までには是非、事務局の方で御検討いただければと思ひます。</p> <p>さて、議事の方に戻りたいと思ひます。</p> <p>それでは続きまして副会長の選任を行います。</p> <p>副会長についても、会長と同様に、始めに立候補される方を募りたいと思ひます。</p> <p>副会長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>どうでしょうか。</p> <p>—立候補する者無し—</p> <p>それでは、立候補される方がいらっしゃらないようなので、御出席されている委員の皆様から、御推薦をいただきたいと思ひますが、どなたか御推薦いただけますでしょうか。</p> <p>公募に応じた方でよろしいのであれば、非常に若い方が入ってきてくださっているので、田中さんに副会長になっていただきたいと思ひ、推薦しようと思っております。</p> <p>ただ、公募の委員さんが副会長をやるかどうか分からないのですが。</p>
興風図書館長 会長	<p>大丈夫です。</p> <p>私から推薦をさせていただきます。慣れていところで河合委員にお願いしたいと思ひまして、推薦いたしたいと思ひます。</p> <p>その他に推薦はいかがでございますでしょうか。</p> <p>—推薦する者無し—</p> <p>それでは多数決によって決定したいと思ひます。</p> <p>田中委員を副会長に選任したいという方、お手を上げてください。</p> <p>—賛成1名—</p> <p>河合委員にお願いしたいという方、お手を上げてください。</p> <p>—賛成多数—</p> <p>多数でございますので、河合委員に副会長をお願いします。</p> <p>それでは河合委員から副会長の御挨拶をいただきたいと思ひます。</p>

河合副会長	<p>仕事をする事はやぶさかではないのですが、こういう集まりには若い方にそろそろポジションを譲ろうと思って、私も72歳になりましたので、そういう考えでやっております。かえって田中委員には大変失礼なことをしたかも知れませんが、是非、これから御活躍していただきたく思っておりますので、お許しいただきたいと思っております。皆様も御理解いただければと思っております。以上でございます。よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>それでは、次に議題2の令和3年度野田市立図書館事業実施状況報告についてを議題とします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
興風図書館館長	<p>&lt;令和3年度野田市立図書館事業実施状況について報告する&gt;</p>
会長	<p>ただ今の説明について、御意見、御質問等があるか伺います。</p>
田中委員	<p>初めてで分からないのですが、貸出し点数のところ、冊数ではなく点数になっているが、定義はありますか。</p>
興風図書館館長	<p>図書館の資料は、必ずしも本ばかりではないので、点という言葉を使うことが多くございます。実際に細かいところを申し上げますと、今回御用意しました資料の8から9ページ、こちらは視聴覚資料が含まれておりませんので、点というより冊であっても問題ないと考えております。</p> <p>分かりにくくて申し訳ありませんでした。</p>
田中委員	<p>3ページに①貸出し点数があるが、年齢層で0から9歳、10から19歳になっているが、この分け方をした理由は何ですか。先ほどここで中学校が出てきたが、これと年齢層が合わないのでは、比較ができないと感じるところがあつて、見方が難しいなと思つたが、この分け方について理由があるか聞きたい。</p>
興風図書館館長	<p>実は野田市の行政の上では、10歳ごとの区切りでお話しする機会が大変多く、市の人口の発表なども10歳ごとというものを用意してございます。他の調査などの関係もございまして、10歳ごとの実績も出しておいた方が他の調査のときも都合が良いものですから、ここでは10歳ごとにお出ししまして、それとはまた別に小学校、中学校というような区切りでもお示しをさせていただいております。</p>
田中委員	<p>そうすると例えば、見方によって、0歳から9歳と10歳から19歳のお子さんたちは、ちょうど親の年齢が40歳から49歳、50歳から5</p>

	<p>9歳ですから、これを見る限り、親がたくさん本を読めば子供たちも読むというように見えるかなと思ったのですが。これでいくと20歳から29歳が貸し出し1.7点、これは全然本を読んでいないのではないかと、いや、そういうことではなく、今はパソコンのWeb上で本を読むことができるので、本を借りてはいないかもしれないが、Web上で借りて自分で本を読んでいるのかな、と思いました。</p>
興風図書館館長	<p>野田市においては、親御さんの年齢層ということもあるが、地域独特の事情があるように感じています。</p>
田中委員	<p>それは例えばどういうことですか。</p>
興風図書館館長	<p>関宿地区の場合は、御家族の中で本を読む習慣が余りない御家庭が多いのかなということがいろいろなところから聞こえてきております。関宿に昔は本屋さんがあったらしいが、現在は本屋さんがなく、読書を楽しむという習慣がないまま育った大人の方も多いようであるというふうに向っております。</p> <p>これが必ずしも正しいかどうかは分かりませんが、そういう傾向が図書館の利用の上からも少し見えているのかなと思ひまして、そのような状況も踏まえて、関宿地区を対象とした読書推進事業を実施しております。</p>
田中委員	<p>分かりました。</p> <p>実は3ページと4ページを比較してみようと思ひ、0歳から9歳でこちらは0歳から6歳になっているので、すごく難しいなと思ひて質問させていただいた。それと、例えば13歳から15歳のところで、人口1人当たりの点数が3.6点ということで、具体的な対策としては、例えば実際に図書館の人が小学校の授業の中に潜り込むとか、あるいは宣伝だけではない具体的な対策はとられていますか。</p>
興風図書館館長	<p>公共図書館として直接やっていることは具体的にはなかなかないが、学校の図書館支援ということで、私ども興風図書館から各学校図書館の状況調査などを行っており、そういうところからいろいろな問題をあぶり出し、最終的には学校図書館から公共図書館も含めてこれからの対策を打ち出さないといけないのであろうなということを考えています。</p> <p>ただ、具体的なところまではなかなか到達しないのが難しいところです。</p>

副会長	<p>2点お聞きします。</p> <p>野田市の出生の状況がよく分からないので、ブックスタートがどのくらいの割合で行き渡っているか全体が見えなかった。10ページのブックスタートで配布セット数779セットは全体の何パーセントくらいですか。</p>
加藤主任主査	<p>今、正確な数字は申し上げられないが、ほぼ100%に近いです。</p>
副会長	<p>出生数はこれしかないのですか。</p>
加藤主任主査	<p>ブックスタートの対象になる人数自体が年々明らかに減っております。これは、現場で感じているところです。</p> <p>配布率に関しては相変わらず高く、95%くらいです。</p>
副会長	<p>私は配布率が減ったのだらうと思ったが、それは由々<sup>ゆゆ</sup>しき一大事ですね。そちらの問題の方が大きくなりますね。分かりました。</p> <p>それと田中委員がおっしゃったことに関して、現状はどうですか。子どもが調査をしていた頃は小・中学校を分けても読書数は中学1年生までは圧倒的に多く、2年生になって急激に減ることがずっと続いていました。それは部活の問題、塾の問題、受験の問題と関わっていましたが、今も変わらないのでしょうか。教えていただければ。</p>
興風図書館館長	<p>私どもは1歳ごとの区切りでは情報を精査していないものですから、ここでは申し上げることができませんが、学校の先生方から聞いたところによりますと、中学1年生は結構借りに来るが、2、3年生は来ないという話を伺ったことがございます。その辺を手掛かりに今後のことを考えていくこともできると思うので、年齢をどこで区切ったらその状況が分かるのかを私どもも考えていきたいと思えます。</p>
副会長	<p>教育長さんもいらっしゃるので、今もそうだったら強調しておきたいが、学校のカリキュラム以上に学校全体の構造の問題として、何か問題があるのだらうと、ずっと思っていたが何もできないままでした。そこがうまくいくと良いなとずっと思っていました。</p>
会長	<p>関宿地区の小中学校児童生徒への読書推進事業について、すごくたくさん数字があがっていて、学校文庫支援が4,620冊になっているが、多分データはないと思うが、学級文庫に本を貸し出している実績、その先ですが学級文庫に置いてある本はどの程度利用されているかという情報が</p>

せきやど図書館長	<p>学校の方から聞こえてきていますか。</p> <p>学級文庫支援については、先生方からも良く読んでいますよということで、正確な数字はないですが、利用されているという声は挙がっています。</p>
田中委員	<p>それに関連して12ページの表を見ると、7月、8月は貸出しが4冊ということだが、私だったら借りますね。その辺は学校とうまく接続できてないとか、呼びかけとかしないのか、どうなのかなと思います。せっかくの夏休みで部活があるかもしれないが、休みがあるので私だったら本を読ませるな、と思います。その辺の現状ともう一つ、先ほどのブックスタートのときに本を配るが、そのときに登録をさせていますか。要するに子供たちが大きくなったら本を借りられるようにということで、その場で例えば保護者の方にQRコードを見せて登録させるような事例はないですか。</p>
せきやど図書館長	<p>7月、8月につきましては、基本的にぶつくらぶ便で請求された本は、学校のクラスの方に配置しているという形になります。長期の休みの前には学校の希望もあり、貸出しというよりも返却のみという形で行っている状態です。</p>
加藤主任主査	<p>ブックスタート事業の開催場所は3か月検診の会場になっています。0歳から図書館の利用者登録ができますよという御案内と図書館の利用案内をお母さんに差し上げて、近くの図書館はどこですかというようなお話をしながら図書館の御利用を勧めておりますが、その場での登録はしていません。</p>
田中委員	<p>分かりました。</p> <p>先ほどの予約サービスのところで、館長がパーセンテージの話をしていましたが、非常に大切なことです。合計の件数も大事ですけども、パーセンテージで示していただくと、前年度の比較など、分かりやすいと思います。</p> <p>レファレンスサービスの中身とは具体的にどんなものですか。文献の紹介というか、例えば南図書館でこんな統計がありますよ、というようなものを含めて、具体的な中身は分かりますか。</p>
興風図書館長補佐	<p>ここに出ていますレファレンスサービスは、主に4種類あります。単</p>

	<p>純にまず一つが利用案内、こういう本はどこに棚にありますか、というすごく簡単なものです。次が資料検索、こういう本はありますか、どうかと言うことで所蔵があるかないか、あるとしたらどこにあるかそれを調べるのが資料検索です。三番目にこれがいわゆるレファレンスサービスであり、参考調査、調べ物で、お客様の質問に対して調査のお手伝いをするものです。例えばウクライナで話されている公用語は何ですか、そういうものがお客様から調べたいと言われたときに、図書館の方でこういう本に載っていますよ、と職員がそのお調べのお手伝いをします。最後に読書案内、これは例えば小学一年生のお子さんから、戦争についての本で何か良いお勧めの本はありますか、というお尋ねがあれば、ふさわしい本をお勧めする。大体この4種類です。件数的には参考調査が、この件数の大体1割だと思っていただいて良いと思います。</p>
会長	他に御意見御質問はありますか。
副会長	市町村図書館の調査の結果は、県のデータベースに行っていますか。
	レファレンスデータベースで今、全国のものをまとめているですが、そこに行くということですか。
興風図書館長補佐	今の御質問は、レファレンスの質問された事例を報告しているか、それとも件数を例えば千葉県内の図書館で野田市の図書館はレファレンスサービスは年間に何件受けていますか、という数字的なものをおっしゃっていますか。
副会長	いや内容です。興風図書館にウクライナの言葉の質問があつて、こう答えました、というものが、県のデータベースには出ています。それを全国で今、一括しているが、市町村のものも入っていますか。
興風図書館長補佐	レファレンスデータベースの方に登録はしておりまして、本来であれば、それに事例を逐一挙げていくべきですが、残念ながら今のところ定期的に報告を上げるということは、まだできておりません。
加藤主任主査	補足があります。
	報告を上げるべきとは思いますが、個人情報との絡みがあり、その質問を上げていいかということを利用者にどのように確認するかというルール作りで困っているところです。
	狭い野田市なので、もしかすると質問自体で個人が特定されてしまう

副会長	<p>のではないかというおそれがあり、躊躇<sup>ちゅうちよ</sup>しています。</p> <p>意見になります、ここは公立図書館としては、異例なほどいろいろな資料をお持ちなので、他の図書館には普通ないものがいっぱいある。</p> <p>この間もテレビを見ていたら、BSだったか、野田市興風図書館資料提供という画像が出てきた。つまり古い資料を画像で載せようと東京の放送局が思ったときに、ここにしかない、というようなことも結構ある。レファレンスの結果はやはり大変でしょうけれども、載せられる仕組みがあった方がよいなと思ったのです。</p>
加藤主任主査	<p>先ほどテレビで使われている事例ということで、御紹介がありましたが、後ほど館内を御覧いただくと、この本が紹介されています、というものを集めたコーナーが郷土資料コーナーの方にございますので、よろしかったら御覧になっていってください。</p>
田中委員	<p>8ページに一般書とか児童書がありますが、どのようにして決めているのか、と思っています。私はいつも図書館で借りていますが、見るとCDも本も最新のものがあります。私はよくCDを借りて聴かせていただいています、発注するとき一般に呼びかけをしているのか、あるいは図書館の中で、こんな本がある、あんな本がある、あるいは最新のものが出ているがどうなのだろう、というようなことで決めているのか、そのあたりがどうなっているのか聞きたいのですが。</p>
加藤主任主査	<p>それは、本を一般書として購入するか、一般書のコーナーに置くか、児童書のコーナーに置くかということですか。</p>
田中委員	<p>本を購入することです。予算もあると思うが、どのように選定して購入しているかということです。</p>
杉山主任主査	<p>発注は興風図書館だけで行っております。それぞれの図書館の選書担当がおりまして、図書館流通センターの方から送られてくる冊子になった新刊のカタログから、本の情報をセレクトして、それぞれ各館担当と調整を図りながら、決定して発注をかけています。カタログに載るよりも先に新聞に載ったりするケースがあるため、既に予約が入っていることもあり、その場合には複数を買うなどの調整をした上で発注させていただいています。</p>
田中委員	<p>本当に助かっています。</p>

<p>興風図書館長補佐</p>	<p>もう一つ、除籍についてですが、いろいろな手法があると思います。私は南図書館を利用しますが、持って行ってください、という本が置いてあり、私はいつもここからもらってきます。除籍の一つの形としてあのようやり方があるのですか。</p> <p>御利用いただいている南図書館は地区館ですので、まず置ける本の数が限られています。北図書館も南図書館も、最初に開館した当時は、1館で5万冊が理想という棚づくりでした。それに少し棚を増やして6万から7万位が限度かなという形になっています。表の方を見ていただくと分かりますが、年間で北図書館も南図書館も大体3,800とか3,600とかそれくらいの数の本を購入しています。そうしますと、下の年度末蔵書数で、南図書館8万2000、北図書館7万7000ということで、既に理想とする数よりもオーバーしています。そこに毎年毎年本がどんどん入ってきますので、当然それだとあふれてしまいますので、古いものを中心に利用が少なくなったものを棚から抜いて除籍という形にします。ただし、それを全部捨ててしまうわけではなくて、その中で、野田市の図書館として、この資料は保存しておかなければいけない、これはたとえ古くなっても利用価値がある、というものに関しては、興風図書館の場合、地下に保存用の書庫がありますので、そちらの方に移管するという形をとっています。</p> <p>それに当てはまらないもの、例えばお料理の本で、同じようなものが何冊もある、というようなもので、他の物で代替できるものは、各図書館で除籍処理をした後、リサイクル資料としてお客様に御自由にお持ちくださいということを出しております。それをお持ちになっていただいていると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他に御意見御質問がないようでしたら、ただ今、説明のありました令和3年度野田市立図書館事業実施報告については、報告事項でございますので、御了承をお願いいたします。</p> <p>—委員了承—</p> <p>それでは、次の議題に移ります。</p> <p>令和4年度野田市立図書館事業を議題といたします。</p>
<p>興風図書館長</p>	<p>事務局より説明をお願いします。</p>

<p>会長</p>	<p>&lt;令和4年度野田市立図書館事業について報告する&gt;</p> <p>ただ今の説明について、御意見、御質問等がありますか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>野田市に東京理科大学があるが、みずき小は大学とコラボしながら講座をやっている。大学との連携で、例えば市民だったら、興風図書館でも南図書館でも大学の図書を借りられるようなそういう連携があったらと思うが、この事業の中で連携はとっていないのか。そういう言葉が一つも入っていないが、大学との連携というのはどうですか。</p>
<p>杉山主任主査</p>	<p>相互貸借という形で、基本的には予約をいただいた本に関しまして、予約を受けたものを、県内の図書館で探します。県内にないものに関しては国会図書館、国会図書館でも手に入らないという場合には大学図書館を当たりますし、理科大さんであれば理科大さんからお借りすることもありますし、それ以外の県外の大学図書館からお借りする場合があります。そういった形で、基本的にできるだけお探しして提供しているようにしています。</p>
<p>田中委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私は以前、大学で図書館長だったので、うちの大学の学生が近隣の図書館に、例えば七夕が近いと、七夕の飾りを持って各図書館に行ったりするようなつながりがありました。せっかく大学が近くにあるので、ボランティア活動でもいいのですが、そういう飾りつけとか、理科に特化したものとか、何らかの連携をしていけるよう、各図書館、あるいは南図書館でもいいが、呼びかけが必要という気がする。せっかく大学があるのに、と思いました。絵本の読み聞かせのことが出ていますが、絵本専門士という資格があって、絵本専門士の人からいろいろ話を聞くと、実は私も絵本専門士ですが、専門の人から絵本の話とか、読書の推進の話とか、例えばブックスタートのところで、実際に絵本専門士、野田市にどのくらいいるか分かりませんが、絵本専門士の話を聞くというのも実は非常に良いことで、小さいときから絵本に興味のある子供たちはもちろん、保護者の方もそうだと思うのですが、ツボにはまるような話を絵本専門士の方がしてくれるかなって思っています。</p> <p>また連携のことですが、キッコーマンがあるじゃないですか。そういう所との連携ができると、いろいろな意味で面白いのではないかなと思います。</p>

<p>加藤主任主査</p>	<p>ました。素人がこんなふうと言って申し訳ないのですが。</p> <p>大学との連携ですが、実際にボランティアとして実験教室を夏休みに開いていただいたということもありまして、2年くらい連続で来ていただきました。大学生でも、そういうサークルに入っている方だと、とてもお子様の扱いが上手で、良いなと思いながら見ていました。ところがコロナ禍になってしまいまして、人の行き来ができにくくなっている状況ですので、今のところは実施しておりません。</p> <p>資料的なことと言えば、図書館に理系の専門的な本を御要望になった場合、東京理科大学の図書館を市民が直接利用できるんですね。ただ期間も限られていますし、いつでも入れるというわけではないので、あらかじめ確認してからですけれども、そちらを御利用いただけますよという御案内をすることがあります。</p> <p>ただ、現在は東京理科大学もコロナで市民が入れなくなっていますので、今はストップしている状況です。</p>
<p>田中委員</p>	<p>この27ページのところにある科学遊び教室ですが、これは非常に良いものだと思います。</p> <p>NPO法人のガリレオ工房というものがあって、絵本に基づき滝川先生という少しお年を召した先生が、理科の実験をしながら絵本を読んでもらうという、理科読<sup>りかどく</sup>という本がありますが、面白いと思います。</p> <p>いろいろな意味で子供たちも喜ぶのではないかなという気がしました。ごめんなさい、余計なことかもしれません。</p>
<p>加藤主任主査 会長 副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に御意見、御質問等ございましたらお願いします。</p> <p>先ほど関宿地区の本屋さんの話があって、せきやど図書館はすごく頑張っているなと思っているが、更なる市としての頑張りが必要だろうと思っている。ただ、中央地区の本屋さんも私たちが子供の頃と比べるともうないと言える、本屋さんがなくなっているので、そういうところを大人としてどう考えていくのかというビジョンがあってしかるべきだと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>付け加えますと、関宿地区で小中学校の読書推進運動をやっていらっしやいますが、これはもう4年たちますよね。これは、実験的に関宿地区</p>

	<p>から始めようみたいなことで、始まったと思いますが、そろそろ他の地区でも関宿地区と同程度のことを始められたらいかかと思う。図書館に来るのを待っていては、中学生の読書推進は進まないと思います。館長も先ほど何とかして手にとらせることができないものかというのを模索しているってことをおっしゃっていましたので、図書館から外に出ていく、図書館の本を学校に持って行って利用してもらう、というような方向転換をしていきたいと思っています。</p> <p>これからは、図書館に本が置いてあります、では済まないことになるのではないかと危惧しています。その辺も、次年度以降御検討いただければと思います。</p> <p>関宿で行っております読書推進事業につきましては、実は野田市の方でも、この場所から見て、いわゆる16号線の外側に当たる部分、つまり近くに図書館がないエリアにつきましては、同じように読書推進事業を行ってきたいという考えはあります。ただ、現在コロナのこともありまして予算が思うようにつかない状態でございまして、いつというのは申し上げにくいのですが、そういう構想があります。例えば、東部地区であるとか、福田であるとか、川間であるとか、そういうところに今後広めていきたいという考えはございます。財政が思うようにいかない時期ですが、進めて参りたいと思っています。</p>
興風図書館長	
田中委員	<p>移動図書館のように回って歩くというのも一つの手かもしれないですね。</p>
副会長	<p>教育長さんもいらっしゃるの、前の教育長さんのときも申し上げたので、もう一回繰り返しますが、福田地区に図書館をと。校舎でもいいではないですか。二ツ塚小も20教室空いているわけで、多分、今も空いていると思います。私がいたときから空いていましたから。福田中だって福田小だって使える教室が山のようにあるはずなので、是非やっていただきたいと今度の教育長さんにもお願いしておきたいと思います。</p> <p>それと、私の誤解かもしれませんが、TRCさんがお入りになると、私の感覚で言うと学校との連携も難しくなる部分があるような気がします。ですから、そこをどういうふうになさるのか、よく分からないが是非連携を遠慮せずにやっていただきたい。それから最初にTRCさんの機</p>

<p>会長</p> <p>興風図書館長 会長</p>	<p>構のお話がありましたが、私も72歳で全然頭に入らないので、機構図を頂けると有り難いと思います。名前が変わったとかいうお話を言われても、全然分からなかったのので、何か図を頂きたいです。それがないと野田市の図書館の全体像が私どもは見えないので、お願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>また付け加えますが、私たちは小学校におはなし会を提供するために何年も行っておりました。学童保育所や幼稚園などにも行っていましたが、コロナ禍になって、もうずっとできていないのです。ボランティアが入ることができなくて、随分と子供たちがお話や絵本から遠ざかってしまっているということを、ひしひしと感じています。</p> <p>ボランティア自身にもおはなし会などの研修の機会もなくなっておりますし、お話に対する意欲もだんだん薄れてきてしまって、やる人も少なくなっていくような状況もあると思います。本当に小中学校に対して図書館からいかにアプローチするかということが、非常に大切になってくるのではないかと思います。</p> <p>それと学校によって、校長先生のお気持ち次第で、是非コロナ禍でもやりたいという先生と、なるべく危険なことはしたくないという先生と、学校による差がすごく出ています。</p> <p>その辺も教育長の方で調整していただいて、是非ともコロナ前の水準ぐらいまでは、いろいろな場で子供たちが本を手取る機会を維持していきたいと思うので、一緒に御協力願えればと思います。</p> <p>他に御意見、御質問はありますか。</p> <p>—意見、質問無し—</p> <p>ないようでしたら、令和4年度野田市立図書館事業についてに対し、御承認いただけますでしょうか。</p> <p>—拍手あり—</p> <p>疑義がないようですので、御承認いただけたものと認めます。</p> <p>これで本日の議題は全て終了いたしました。事務局より何かございますか。</p> <p>追加議題に関してお願いします。</p> <p>はい、お願いします。</p>
--------------------------------	---

興風図書館長	<p>&lt;令和2年度から4年度までの新型コロナウイルス感染防止対策に係る野田市立図書館の開館状況について報告する&gt;</p>
会長	<p>ただ今の報告について、御質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>基準に基づいてという話ですよ。</p>
田中委員	<p>やはり公立図書館なので、何とも言えないところですが、だからこそ攻めの姿勢というか、図書館とコミュニティということで謳<sup>うた</sup>っているのではないですか。</p> <p>うちの父もすぐそばに住んでいるが、行く場所がなくなった、と言っています。話をしている中で、例えば、バーチャルライブラリーみたいに、ネットから、おじいちゃん、おばあちゃん、私もそうですが、難しいと思いますが、こういう本が借りられるというようなことが見られるバーチャルのような、あるいはそのコミュニティの場ということを言っているので、何か攻めるっていうところも必要かな、と思います。</p> <p>父と母のその姿を見て、何か寂しそうで、いつも行っている図書館が行けなくなってしまったというように言っているので、せっかくコミュニティの場というふうに言っているところで、攻めの姿勢も必要かな、攻めという言葉でよいのかどうかわからないけれど、必要なのかと、いつも思っています。コロナがまん延すると全てマイナスで、全部引かれて結局のところ何もないというようなことになっていませんか。</p> <p>しかしその中でプラス1ぐらいでもいいですが、できそうな可能性があるものを考えていて、やはり大人もいるので、市民の声を拾いつつ何かできないかなということをいつも考えています。これは聞いた感想です。申し訳ございません。</p>
興風図書館長	<p>御提案をいただけてとてもうれしいのですが、私どもは市の職員ですので、コロナ対策本部会議が、こうします、と決めてきた場合に、それから逸脱するのが難しいというところがどうしてもございます。</p> <p>ただ、お話いただいた内容は分かりますので、何とか前向きな方向に持っていければということは思っておりますけれども、まず感染防止が第一、というのはどうしても出てきてしまうことだと思っております。</p>
教育長	<p>先ほど会長さんから、ボランティアのお話を伺いましたが、学校に対しても、田中委員さんがおっしゃるように、コロナに負けずに攻めの姿</p>

<p>会長</p> <p>興風図書館長</p> <p>会長</p>	<p>勢で学校を運営する、ということを私の方からも、各校長先生方をお願いをしているところです。</p> <p>興風図書館も、同じように、攻めの姿勢でやりたいのはやまやまですが、先ほど申し上げましたとおり、コロナウィルス対策会議という頂点の会議がありまして、そこで市の方針はバンと決められてしまいます。興風図書館だけではなく、公民館など、市の施設全てがその方針で進まなくてはいけないということになります。</p> <p>我々の方も、せめてこういうふうに、こんな形で、というふうな提案をさせていただくのですが、やはり市の方針第一と言うことがありますので、利用者の方々には本当に申し訳ないのですが、そういうふうに制限をさせていただくこともあるということで御理解いただければと思います。</p> <p>学校の方に関しては、できるだけ地域の人たちを、学校の中に入れて、子供たちのために何かできることがあるのではないかと、ということで私の方からも、提案をさせていただいておりますので、田中委員がおっしゃるとおり、攻めの姿勢で進めていきたいというふうに考えております。</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>事務局より何かございますか。</p> <p>特にございません。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和4年度第1回野田市立図書館協議会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたり御審議いただきまして、大変お疲れさまでございました。</p> <p>最後に私からお願ひを申し上げます。</p> <p>委員の方も大分新しくなられ、興風図書館のバックヤードを御覧になったことのない方も多くいらっしゃると思います。</p> <p>大変貴重な資料を、見たこともないような形で保存されているということを、是非この機会に御見学いただければと思います。</p> <p>次回の図書館協議会のときでも結構ですので、バックヤードツアーを開催していただければ、と思っております。</p>
-----------------------------------	--

	以上です。
--	-------